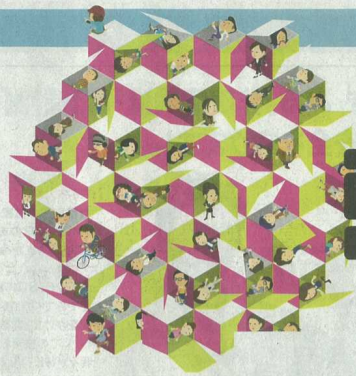


北日本新聞



今こそ、富山で働く。

就活七作

Vol.6

SHUKATSU TOYAMA BY Kinet 2014

- 視野を広げて気付く 中小企業で働く魅力
- WELCOME! 企業からのメッセージ②

【編集】kinet(北日本新聞就職情報センター)
 【発行】北日本新聞社
 〒930-0094 富山市安住町 2-14 TEL.076-445-3337
 kinetweb@kitanippon.co.jp

kinet 2014 検索

http://kitanippon.jp/kinet/2014/

学生登録受付中!!

板川 信夫さん/サンエツ代表取締役
 「中小企業は『地域密着型の高付加価値企業』。小さくてもピカッと光る強みを持っています」

坂井 彦就さん/三楽園グループ代表取締役社長
 「地元にいると気づきにくい富山の観光資源。実は海外からの観光客誘致でチャンスが拡大しています」

森 弘吉さん/エムダイヤ代表取締役
 「東京、大阪、名古屋の3大都市圏とほぼ同じ距離という地理的条件は製造業にとっても有利です」



写真左から、森さん、坂井さん、板川さん、辻さん、森田さん、竹内さん

辻 素樹さん/オレンジマート専務取締役
 「中小企業の仕事はマラソンレース。はじめから終わりまで関わり、感動のゴールを迎えることができます」

森田 昌孝さん/モリタ代表取締役社長
 「中小企業同士の連携で新たなビジネスを創出できるのは、大企業にはまねのできない利点です」

竹内 正明さん/カネソ代表取締役
 「プラス思考で、決してあきらめない意思が大事。とにかく積極的にチャレンジしてほしいです」

3月に入り、就職活動中の皆さんにとっては、自分の志望を固めていく時期。大切なことは自分と企業について深く知り、広い視野を持つことです。県中小企業家同友会の共同求人委員会では、共同で新卒社員の採用・育成活動に取り組み、中小企業の魅力を発信しています。今回は同委員会から6社の企業トップや採用担当役員を招き、富山の中小企業で働く魅力などについて話し合っていました。

働きやすく、暮らしやすい富山

—富山で働く魅力は。
 板川 富山は「住みよき日本一」で知られている。安心して暮らせる上に、仕事でもプライベートでも抜群の環境にあると言っています。また、家賃など生活コストが抑えられるので、その分、給料を有効に使えというメリットも大きい。
 辻 生まれ育ったところで生活すると友人関係が深まり、家族の絆も強まる。それが地元で生活する魅力の1つだ。しかも富山には製造業のほか、サービス業、観光業など多岐にわたる業種の企業がある。異業種の人たちと出会うことで、自分自身の成長につなげられることもある。



森田 若いときには都会に憧れを抱くものだが、地元には人の絆や地域とのつながりなど富山ならではの文化がある。生活することと働くことが一体的に結びついているのが魅力なのではないか。ウインタースポーツなども富山だからこそ気軽にできる楽しみで、Uターンした社員が積極的に楽しんでいる。
竹内 富山は、働くのには環境に



恵まれた土地柄だ。生まれ育った土地に根を下ろし、地域を盛り上げることに貢献できる。

森 県外とのつながりでは東京、大阪、名古屋の3大都市圏とほぼ同じ距離にあるなど、製造業にとっても地理的条件で有利だ。

坂井 富山は四季折々の味わいがあるほか、食材が豊富な上に人情味も豊かだ。地元にいると気づきにくい観光資源にも恵まれており、アジアを中心とした海外からの観光客誘致でチャンスが従来になく拡大している。また、生活面では車やインターネットのおかげで買い物などに不自由はないと思う。

やりがいと成長を実感

—中小企業で働くやりがいは。
森 中小企業は社員の自己実現・自己成長の場でもある。当社では、新人でも1人で担当する工程が多い。自分か作った部品が製品に組み込まれ、役立っているのを実感できる。製品の据え付けでは県外へ出張することもあり、全国の人や文化に触れる楽しみもある。
坂井 社員一人一人の役割が大き

視野を広げて気付く 中小企業で働く魅力

く、自分の存在意義を認識しやすい。特に接客業はお客様に育てられる側面が強く、会社とともに早く人間的に成長できる。お客様に近く接し、自分が役立っていると思う喜びが大きいからだろう。

森田 社員同士が補い合っって力強いチームワークが生まれ、さらに中小企業同士が連携すれば新たなビジネスが広がる。そして、その延長線上で地域づくりやまちづくりにまで関わることができる。

辻 新入社員に入社理由を聞くと、毎年、やりがいと社内の雰囲気や上位を占める。小規模企業での仕事はいわばマラソンレース。仕事のはじめから終わりまで関わることで、辛さやうれしさを受け止めて感動のゴールを迎えることができるから。一方、組織のトップが身近にいる風通しの良さ、職場の家族的雰囲気も見逃せない。

板川 中小企業とは地域に特化し専門性を発揮する「少数精鋭による地域密着型の高付加価値企業」だと考えている。経営者の考えが把握しやすく、納得して仕事ができる。待遇改善により、勤務条件において大企業との差が縮まっている点も指摘しておきたい。

竹内 中小企業の良さが学生に十分に理解されていないように思う。例えば規模の小さな組織では自分の考えを会社のトップにも直接伝えられる。そこから新たな目標が生まれ、やりがいにもなる。企業もそうした良さをもっと発信しなければ。

就活は積極的に行動を

—就活生へのメッセージを。
板川 興味を感じた企業があったら、実際に足を運んで実態を見てほしい。地域とともに発展を目指す会社かどうか、職場の雰囲気や働く人たちの表情はどうか、納得できるまで何度でも。会社説明会は経営者に面と向かって話せるチャンスだから大事にしたい。

坂井 同友会加盟企業の場合、合同企業説明会にも経営者が参加することが多いので、良い機会だ。会社訪問は異業種を含めて複数社で違いの比較を。そこから自分に合った会社が見えてくるだろう。



森 学生時代に多くのアルバイトを経験してほしい。自分自身の体験からも言えるが、適性を判断する上で役立つし、得た経験は社会に出てから無駄にはならない。また、苦境やストレスに打ち勝った経験は、社会で立ち立つ力になる。

竹内 プラス思考で、決してあきらめない意思が大事。「できない」という言葉は禁句だと自覚し、とにかく積極的にチャレンジしてほしい。入社したら夢や目標を持つこと。それも期限を付けた目標を。そして他人と競争するよりも、きのうの自分と競争する。それによって一歩一歩、着実な成長ができる。

森田 自分が何をしたいかわからないと悩んでいる学生が多い。不安はあるだろうが、働くことの素晴らしさを信じ、期待感を持って説明会へ。そして男子学生はもっと元気があってもいい。

辻 適職は働いてみるまでわからない。だからこそ、就活では説明会を聞くだけで満足せず、五感を活用した積極的な行動を。そして社会に必要な心得として、①人の役に立つとすると健全な精神②目標を定め、日々挑戦する継続力③失敗してもくじけないプラス思考の心——という3つを示しておきたい。